

日本工営株式会社

2020 年 8 月 13 日

日本工営 バーチャルパワープラント構築実証事業を開始 **経済産業省「令和 2 年度 需要家側エネルギーリソースを活用した** **バーチャルパワープラント構築実証事業費補助金」に参画**

日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：有元龍一、以下「当社」）は、経済産業省が一般社団法人環境共創イニシアチブ（SII）を通じて公募した「令和 2 年度 需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント（以下、VPP）構築実証事業費補助金」のうち「VPP アグリゲーション事業」に申請し、この度、採択が決定されましたので、お知らせいたします。

近年、国内では再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、電力系統の不安定化が懸念されています。現在は電力会社等が保有する発電所の調整能力によって安定化していますが、建設や維持管理などに莫大なコストがかかることから、需要家側が導入している太陽光発電、電気自動車、蓄電池などを集約し、電力系統の安定化に寄与する調整力として活用する取組みに期待が高まっています。

当社は、本実証事業初年度の 2016 年度より参画し、VPP 構築における蓄電池の有用性や実効性の評価、系統周波数の自端計測による高速制御などの実証を進めてきました。

昨年度はリソースアグリゲーター※¹として本実証に参画すると共に、新たな制御リソースの導入として、コンソーシアムの実証協力事業者である ENEOS 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大田勝幸）から蓄電池システム（100kW/59.5kWh）の設計・構築業務を受注し、ENEOS 喜入基地株式会社（本社：鹿児島県鹿児島市、代表取締役社長：山口亮）に導入しました。また、リソースアグリゲーターに必要なクラウドシステムや蓄電池を制御する EMS（エネルギー管理システム）は当社内ですべて開発し、上位のアグリゲーションコーディネーター※²との関係や蓄電池システム制御の実証を通じて検証を行い、技術と知見を蓄積しました。

VPP 構築実証事業の最終年度となる本年度は、引き続き、需給調整市場 三次調整力①・②※³の共通実証、アグリゲーションコーディネーターが指定する市場価格連動デマンドレスポンスの実証に参加する計画です。また、本実証に活用する制御リソースとして、新たな蓄電池システムの導入を進める予定です。

蓄電池システムを活用したビジネスは、蓄電池システムの技術革新とコストダウンにより、年々、市場の成長が進んでいます。また、2021 年度より需給調整市場が開設されることなどから、VPP を含めたエネルギーリソースアグリゲーションビジネスの本格化に業界全体の期待が高まっています。当社は、これまで培った経験を生かし、容量市場・需給調整市場への参入を皮切りにこれらの領域で幅広く事業展開を推進していきます。

※¹ 需要家と VPP サービス契約を直接締結してリソース制御を行う事業者

※² リソースアグリゲーターが制御した電力量を束ね、一般送配電事業者などと電力取引を行う事業者

※³ 電力系統の需給バランス調整に必要な調整力を取引する需給調整市場は、その調整力となる電源等を応動速度の違いなどにより 5 種類（一次調整力、二次調整力①、二次調整力②、三次調整力①、三次調整力②）に分類している

—本件に関するお問合せ先—

日本工営株式会社 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.n-koei.co.jp/>



ENEOS喜入基地 蓄電池システム 概要

(1) 蓄電池システム

- ・出力： 100kW
- ・蓄電池容量： 59.5kWh
- ・太陽光発電： 11kW

(2) EMS

- ・主な機能：
 - ①リソースアグリゲーターの指令に基づく充放電制御
 - ②手動操作による充放電制御

■日本工営株式会社

代表者： 代表取締役社長 有元龍一

設立： 1946年6月7日

本社所在地： 東京都千代田区

事業内容：

日本工営グループは、1946年（昭和21年）の創業以来、国内外における社会資本整備を通じて、時代の要請に応えながら国づくりの一翼を担ってまいりました。産業振興や国民生活の安心を守るために欠くことができない社会基盤整備に関わる建設コンサルティングや電力流通設備・水力発電に関わるエンジニアリング、さらに近年高まりを見せる環境対策やCO2削減で脚光を浴びる都市交通システム事業への参画などを通じ、社会と密接な関わりを保ちながら事業を進めています。

私たち日本工営グループは、「安全・安心な社会基盤と豊かな生活空間づくりに価値あるサービスを提供し未来を拓く」というビジョンに基づき、グローバルなコンサルティング&エンジニアリングファームへと進化を続けていきます。

ホームページ： <https://www.n-koei.co.jp/>